

広報かわにし

発行所 川西町役場
 発行者 川西町 (町長 中村社吉)
 編集 教育委員会
 印刷所 白南風社
 定価 1部5円
 人口の動き
 (11月1日現在)
 男女 7,027人
 計 7,200人
 世帯数 1,422世帯
 2,757世帯

中仙田の永久橋 明年五月には完成 工費一千九百万円で

中仙田内の仙田橋が、近代的な鉄橋にかけられることになった。総工費は約一千九百万円、国費による橋りょうかけ工事のため、町で約百万円を支出するほかは全部国費が負担して行なう。工事は冬季に重点がおかれ、さる五日に着工した。明年五月には完成の予定である。仙田橋は、中条新田高柳線をつなぐポイントにあり、完成後は粕崎十日町間、彌城・長岡間の交通がますますひんぱんになってくるわけ。これまでチベットといわれてきた仙田郷も、この橋の永久化によって大きくうかびあがることになる。

室島橋と同じ型

いまの仙田橋は昭和五年にかけられたもの。二十五年に主ケタを取り替え、以来毎年のように補修してはきたが、最近はそのがでないまでにクタクタしてしまった。四トンの重量制限をいっばいにトラックが通ると、ハラハラするほどの木橋なのである。それだけに「セビ永久橋を」と叫んできた地元の喜びは大きい。

こんどかけられる仙田橋は、昨年完成した室島橋と全く同型の、ボーストリングトラス橋と呼ばれる。雪国の鉄橋としては最も合理的に設計され、積雪や寒さで鉄骨

工事中はツリ橋を

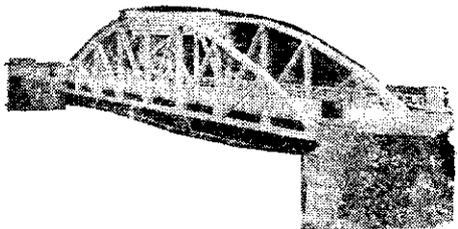
工事中は仮橋をかける。岩瀬橋や室島橋の場合にはまず新しい橋

がかげられ、その橋に見合う道路を整備してから古い橋をこわした。仙田橋ではそれができないので、本工事に着手する前にまず仮橋をかけなければならぬわけ。そこで、リヤカーや軽自動車が行可能なツリ橋(中一・八メートル)をかけることになった。場所は、角屋(川東)のウラから宮城(川西)のウラになる。

赤岩線の 道路も改修

現在、「仙田橋ができたから、中仙田・岩瀬間の道路を六・五メートル

トルに拡張してほしい」という地元の高い要望がある。これには町も積極的に、仙田橋の完成にたいして着手するけいがある。だからこの線の改修も遠からず実現するだろう。が、このためには沿道住民の敷居やとりこわしが相当数にのぼるものとみられ、町では関係者の理解と協力を望んでいる。



(完成後はこんな橋に)



ツケ菜洗うアネサ

しびれるような手でツケ菜洗うアネサ、川べの風も身を切るほど冷たい。ここは活のよきはすむところ、ときおりかん高い笑い声をきかせる。冬の食ぜんがにぎわうのもすく。

木落にて……押木秀治撮影

交通安全の 自治会を結成

さる十月二十日、町役場で川西町交通安全自治会が結成された。中村町長を会長に、役場関係者、警察官、学校長、囃託員、運転者協会など、八十六名の委員をもって組織する。

道徳の場のために必要な指導助言を行ない、交通環境の改善をはかり、事故の防止に必要な措置をして、川西町から交通事故をなくすることが目的である。

この町で車を動かす人は約一千人、十五人に一人の割合で運転しているわけだ。この会を中心にして、人も車もよく規則を守って、悲惨な事故をなくしてほしい。

川西を思う人たち

いま夏をむかえたブラジルに、川西のあさがおが大きな花を見せられたという。去年の七月に、岩瀬の金子国栄君が持参したものだ。祖国の花となつたかしがら、邦人の参観者がひっきりなしにつめかけるのことである。遠い地球の反対側で、母国を思う日本人の姿が目に見える。

町づくり

東京教育大学での二カ月は、町の出身者にめぐり合う機会でもあった。あの、めまぐるしさの中で、安定した生活を営む人たちが共通なものをつかむことができた。それは、「だれもがふるさとをなつかしむ」ということであつた。

小さな庭に、ふるさとの花がいっぱい咲いていた。名知らぬ草花や苗木でも、帰省のたびに持ち運んで植えたという。春にはさくらやこぶしの花が、秋にはきくが咲いてくれるそうである。つじやせんまいの根を、だいに手入れするおじいさんもあつた。

まだある。すももの木に登って足をすりむいたこと、かきくいなから渡り鳥を数えたことなどのおもいでを、一つ一つ、じつによくおぼえていた。憂いに耐え、長い苦労の末にしかあわせを勝ち得ることができたのは、こうしてつねに生家を思い、ふるさとをなつかしむ気持ちがあつたからであらう。

ところが、あふるさとはなつかしい。が、あふるさとは強い生活には身ぶるいする」という人もかなりあつた。「都には自由がある。だからわたしは東京に出た」とは言わなかったが、心の底にはそんなことがかくされていような人も見うけられた。

異郷で夢にみるふるさととは美しい。あの山この川には、かぎりないおもいでが秘められている。これらの夢をこわしてはいけない。が、住む人の前近代性はこわさなければならぬ。いやなおもいでを忘れさせるふるさと、いつまでも愛される町にしたいものだ。

川西に生きるわたしたち、良さと悪さにまよおはさないかもしれぬ。町の美しさをもういちどよくかみしめてみよう。社会教育の問題点は何だろうか。

社教委の会議から 社会教育を強力に推進

明年は社教主事を設置

川西町社会教育委員会ならびに公民館運営審議会委員の合同会議は、さる十月十七日午前九時から役場でひらかれた。社会教育法の一部改正により、ますます強化されてきた町社会教育を、こんどどうにすすめたいか、というところが審議の焦点であった。

この会議により、中村町政のスローガンの一つである人づくり教育が、人的、施設の、予算などの面について整備拡充され、今後、町の社会教育が強力に推進されるものと期待されている。

この日会議に出席した者は、中村委員長(町長)をはじめ、田中三郎(副委員長)、渡辺満磨、酒井信四郎、野沢秀保、種田恒平、馬場下禰、太田長栄、種村清作、片桐荘太、山家庚一、田中直江、田中義勝、藤本秀雄、小川良夫の十五氏。公民館長として登坂精一、柞新治郎、樋口晋七の三氏。事務局から金子幸作と保坂國夫の二名が出席した。会議に先だって中村委員長からあいさつが述べられ、前委員であった高橋源治郎、星名周平、故、登坂キシの三氏に代わって、新しく委員となった山家庚一、田中義勝、田中直江氏らの紹介があり、田中三郎氏が議長席について会議にうつった。

議事は、①社会教育行政機構の確立 ②社教団体の指導者研修会開催 ③講演会の開催 ④新生活運動指導者の講習会開催 ⑤冬季成人講座の開設 ⑥川西町青年団連絡協議会に補助金十万円を交付する件 ⑦社会教育計画の立案、などであった。

機構確立が審議の焦点

社教・公民館に増員か

この日のヤマである社会教育機構の確立は、町の社教と公民館に職員をふやしたい、というものである。これまで一名の社教係は、広報などの過重で社会教育の面にまで十分な手を伸ばすことができず、また、一名の公民館係も副任があるとはいえ、各種の行事や青年学級だけで手いっぱい、という実状にあり、それも、ほとんどが土・日曜や夜という仕事を現在までどうにかこらえてきた。にもかかわらず、「社教や公民館は何をしているのか」という声もきかれるので、社会教育主事が必置制となったことを機に、ぜひとも行政機構を確立して住民の要望にこたえたい、というのが事務局の弁であった。

この問題は、今後町の社会教育を推進する原動力となるものであり、それだけに慎重な検討がなされた結果、全委員の要望として次の意見がまとまった。

社会教育・公民館職員の増員について(要望)

社会教育法の一部改正により、市町村における社会教育はますます強化され、その仕事や責任も果てないまでに拡大されてきた。ますます業務の遂行に必要な人員を確保し、この町における社会教育の機構を確立して、住民の生活に根をおろした社会教育をすすめていかなければならない。近く、役場の機構改革が行なわれるということであるが、これを機会に次のことを実現していただけるならば幸いである。

- 一、教育委員会に社会教育主事および主事補一名をおくこと。
- 二、公民館に新しく専任主事一名をおき、各地区(千手一、上野・橋一、仙田一)を担任して活動を推進できるようにすること。

理解のある 中村町長

(田中三郎氏) 社教関係職員の増員(要望)について、ほかのご意見はないか。

(馬場下禰氏) この案を、委員長である町長さんはどう考えていらっしゃるか。それをおきさしたい。(中村杜吉氏) 役場のどの仕事も年々複雑になってきており、必然的に事務量が増え、小さな町村ほどなやみが大変、というのが現状だ。しかし、社会教育は人づくりである。りっぱな町にするためには、この人づくりをおろそかにしてはならない、とわたしは考えている。社会教育主事は必置制だから問題はないが、これには条例の一部改正が必要だ。近く総文の委員会をひらき、給与についても検討し、ここで増員するかどうかをきめ、現行員の中からくり合わせていくかどうかを審議してもらって、それぞれのすじ

を通して適任者を見つけたい。(野沢秀保氏) 町長さんから特段のご配慮をお願いしたい。この要望をぜひ実現してほしい。(太田長栄氏) この町では、社会教育主事をいつまでにおかなければならないのか。

(保坂國夫氏) 県の指導により、おそくも三十六年度中ということになっている。

(太田長栄氏) 社会教育主事の資格について知りたい。

(保坂國夫氏) ①大学に二年以上在学して六十二単位以上を修得し、かつ、三年以上社会教育に関係のある職にあった者で、社会教育主事の講習を修了したもの。

②教育職員の普通免許状を有し、かつ、五年以上教職にあった者で社会教育主事の講習を修了したもの。

③大学に二年以上在学して六十二単位を修得し、かつ、大学において社会教育に関する科目の単位を修得した者で、一年以上社会教育主事補の職にあったもの。④

社会教育主事の講習を修了した者で、前各号に掲げる者に相当すると都道府県の教育委員会が認定したものの、のいすれかである。

(酒井信四郎氏) 社会教育主事の身分と職務は……。

(保坂國夫氏) 社会教育主事は、教育公務員特別法による専門的教育職員であって、一般事務職員ではない。社会教育を行なう者に専門的な助言と指導をあたえることが職務である。

講演会を 魅力あるものに

(田中三郎氏) 講演会開催の件にうつりたい。事務局の説明を求めたい。

(保坂國夫氏) 適当な講師を物色して、四地区で講演会をひらきたい。十一月下旬の予定である。

(中村杜吉氏) 講演会を、浪花辰蔵が来たときのようにハヤラセルことはできないものか。せっかくよい講演会をして、聴衆が少なくない講師に気の毒だ。

(田中三郎氏) それの問題だ。われわれは、人集めの方法をもっと真剣に考える必要がある。

(中村杜吉氏) 何とかいい方法はないものか。女の先生は魅力があるのかハヤル。(笑声)

(登坂精一氏) 婦人会や青年団のように組織をもっていると、義理もあってか多く集まる。が、問題は講師と講演の内容による。

(保坂國夫氏) 壮年層を対象にして、経済に直接ひびくような魅力のあるものにした。

(酒井信四郎氏) この間の経

濟講演会は聴衆がタツタ六人……イヤハヤさんなんめにあった。(渡辺満磨氏) 社会教育や経済の話は、おもしろくないと苦めこんでいる。だから集まらない。

(保坂國夫氏) 小中学生を入れないければ講師にメンツがたない。というようなことはできるだけさせたいと思う。

(中村杜吉氏) ヘタたらゴイスアラヘタ、じょうずだからゴイスアラじょうずの人でなければだめ。

(馬場下禰氏) 主題は何か。

(保坂國夫氏) 貿易の自由化が農村にあたる影響だ。

(野沢秀保氏) このへんの三反百姓には影響しない。だめだ。

(中村杜吉氏) 新潟の刑務所長が、週刊誌的な話をしたらわりあいうけたことがある。ああいったくだけた話の中に、大衆の心理をつかむ何かがあるようだな。

(野沢秀保氏) 県の増井、山田、佐藤先生の話は良かった。ああいう話をしてくれれば集まる。

(中村杜吉氏) 何にしても、もっと魅力のある講演会をひらこうじやないか。うんと集まる効果的な会にしようじやないか。

(田中三郎氏) 講演会は十一月下旬に、地区ごとに行なうことにしたい。テーマは時局問題、講師はNHKを通じて依頼する。

研修会は十三日

(田中三郎氏) 社教団体の指導者研修会について説明を……。(保坂國夫氏) 十一月十三日に、千手小学校で実施したい。(次ページ上段へ)

衆議院議員総選挙

投票日まであと十日

国づくりをあなたの手で

衆議院議員総選挙は十一月二十日にきまった。戦後八回、新憲法が公布されてから七回目の総選挙である。この選挙が、いまだデモクラシーにはほど遠いといわれる日本の、今後の動向を左右することはいうまでもない。毎日の暮らしが今よりもっと良くなることも、逆に今より苦しくなることも、じつに、この選挙が正しく行なわれるかどうかにかかっている。選挙公報をよく読み、わたしたちの代表としてふさわしい人に、あなたの清い一票を投じていただきたい。

選挙戦

たけなわ

第四区(定員三名)の立候補者は、田中彰治(自民前)、木原正雄(民社新)、寺島泰治(共産新)、塚田十一郎(自民前)、鈴木吉治郎(社会新)、猪俣浩三(社会前)の六氏。この町でもさる六日に立会演説会を終わりに、目下激烈な選挙戦が展開されている。

町にはこれまでもおりの十六の投票所が設けられ、当日は選挙関係者を中心に、役場職員が総動員で選挙の事務に従事する。投票時間は午前七時から午後六時まで、ただし一部の投票所では、一時間ないし二時間の繰り上げ投票を予定している。県内ほとんどが即日開票のため、町でも午後八時から役場で開票の見込み。

町選挙管理委員会では、十月三十一日現在で補充選挙人名簿を調製した。この名簿は十一月十三日から十六日まで縦覧し、この間に異議の申し立てを受け付け、十八日に確定することになっている。

もしやと思う人は、この期間にもういちどよく確かめてみることをおすすめしたい。

裁判官の国民審査

この選挙と同時に、最高裁判所裁判官の国民審査が行なわれる。最高裁判所の裁判官は政府が任命するが、任命された人が適任であるかどうかについては、主権者である国民の信任を得なければならぬ。この信任投票が、いつも、衆議院議員の総選挙にあわせて行なわれるわけである。こうして信任された裁判官は、その日から十年間在職できることになっている。今回審査を受ける裁判官は、その十年の期限が切れて二度目の、小谷勝重・島保・斎藤悠輔・藤田八郎・河村又介の五氏と、はじ

戸籍の窓から

たかさご 御円満に
◎ 新郎 伊藤 保雄 上野
◎ 新婦 丸山 花 原田から
◎ 新郎 北堀 伸司 小白倉
◎ 新婦 山岸 サツ 三桶から

うぶ声 御すこやかに
浦井 健一 政春 長男 上野
相崎加代子 留二 長女 発電所通
宮 千種 昭一 長女 山野田
丸山 和彦 郁平 長男 根 深
内山 佳子 辰雄 長女 新町

衆議院議員総選挙投票所別一覧

Table with columns: 投票所, 開設場所, 町長選挙時有効者数(8,672), 投票管理者. Lists 16 polling stations across the town.

るかどうかについては、主権者である国民の信任を得なければならぬ。この信任投票が、いつも、衆議院議員の総選挙にあわせて行なわれるわけである。こうして信任された裁判官は、その日から十年間在職できることになっている。今回審査を受ける裁判官は、その十年の期限が切れて二度目の、小谷勝重・島保・斎藤悠輔・藤田八郎・河村又介の五氏と、はじ

昇天 御めい福を祈る
平野 タミ 東善寺 八三
丸山 すすよ 木落 四五
小崎 トキ 仁田 五七
佐藤 甚作 霧谷 七七
高橋 鉄蔵 高倉 七二
茂野源太郎 室島 七二
押木 ヨミ 田戸 六八
小林久美子 中仙田 〇
佐藤 フミ 藤沢 七六

赤ちゃんコン
入賞者さま
第三回赤ちゃんコンクールで二十名の優良児が生まれた。きよねんの四月一日から、ことしの三月末日までに生まれた赤ちゃん二百四十四名を対象に実施したもの。さる二日の表彰式に、中村町長から賞状と賞品が贈られた。晴れ

Table showing rice sales status for 昭和35年産米. Columns include 期別, 1等, 2等, 3等, 4等, 5等, 等外, 計. Total sales: 44,990 units.

ふるさと
二年半ぶりの総選挙がまぢかとなった。町で投票の行なわれるのは昨年六月の参院選以来だ。公明選挙が連日叫ばれ、昨年の選挙チームが同時に奮闘選挙チームを意味したあつたから、関心の深いのは当然である。▲選挙の腐敗というところ、一般が無抵抗な傾向にあるのは解せない。実際、本気で怒る者がバカにされるようなフシを見受ける。たんに選挙という局所だけの心理ではないと感じた。「清く正しい」式の公明選挙運動ではおとらなく、運動の曲がりかどがうんぬんされ、最近になって話し合い運動の方法をとり入れたのもうなすける。共通の考え、意見をつくりあける努力は必要なのだ。▲町で公明選挙を論ずるなら、具体的に一つだけ言ってみよう。それは、無効投票が多いことだ。昨年の例をとると、四月の統一地方選挙では県議で九三四、参院の通常選挙になると地方区が四三九、全国区で七一もの無効投票がある。▲知事にダライ・ラマと書き、県議に月形半平太と記入するため投票所へ足を運ぶ、全く落語にもならない。他事記載の心理など高の知れたものだが、白票の多いのは残念だ。こう無効が多くなるとは投票率の高低も二の次ぎになってしまふ。▲いつの選挙でも違反者のみられない川西町のことだ。この上は「自分のいちばん出したい人、選びたい党に一票を入れる」精神に違反してもらいたくない。こんどの選挙をこんな意味で考えてみた。

第二回青少年実績発表会

じっくりとりくむ生産活動

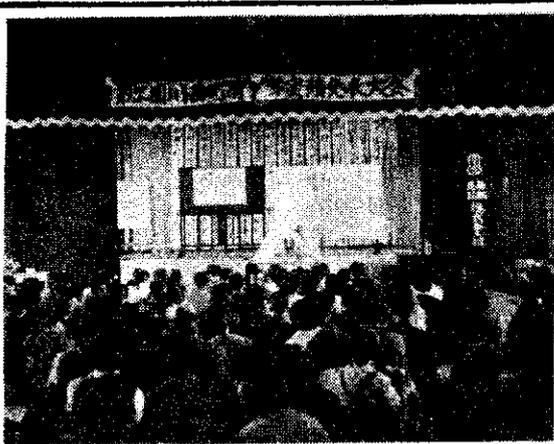
目標つかんだ青年たち

青年活動の沈滞がとりだされ、お祭り青年団といわれてから久しい。そんな空気を一掃した第二回川西町青少年実績発表会だ。昨年の第一回大会あたりから、青年たちが地域の生産活動に関心をむけている姿がうきだされ、女子も生活の改善に問題求めている目標を失った青年ということほか、町ではようやく過去のものになりつつあるようだ。以下この日の大会にふれてみると……

質問もなごやかに

第二回川西町青少年実績発表会

会は、さる十月三十日上野小学校体育館でひらかれた。この日集まったのは町の青年団員、青年学生、それと一般もくわって約三百人。来賓の激励にはじまった大会は、クラブ発表、プロシエクト発表、演説をあわせると十六、演



また、表面だて発表に優劣はつけなかったが、審査方法を定めて、主催者(青年団・公民館・普及所)が内容をこまかに分析したことは、発表技術の問題をはじめ、今後に役立つところが多いだろう。

審査にあたったのは山家庚一・齊藤長兵衛高橋光子(いずれも普及所)金子幸作(町教委)保坂国夫(公民館)の五氏で、審査の結果は、県の青少年実績発表大会に、町の代表を送るための資料にもなる。発表内容は、青年団の場合部落青年会の活動に重点をおいているこれは町青年団連絡協議会の方向が示すように、これからの青年団活動が実生活と結びついた、小グループや部落単位の活動に移ってきたことを物語る。



(審査風景)

多彩な発表内容

それではどんな発表があったか当日のプログラムによると

- ◎水田の改良暗渠排水
- ◎新町青年会 内山 重義
- ◎粒数計算および坪刈りと実収高の差 仁田青年会 小幡 邦保
- ◎自動車グループの歩み 千手青年学級 丸山 政勝
- ◎農村の生活(アンケート) 大臼倉青年団 岡島 利明
- ◎農村と婦人

野口青年会 村越 久江
料理演説「サンマどんぶり」
上野青年学級 高橋 アキ
上村 栄子

◎青年団活動について
上野青年会 田村 直行
◎青年学級と父兄会
橋本青年学級 藤田 義幸

◎農村みたま
元町青年会 金子 鉄平
◎中央青年会結成のあらまし
中央青年会 小林 松市

◎部落の中にとけこんだ青年活動
取安青年会 丸山 和徳
◎青年学級でどんなことを学習したいか
上野青年学級 清水寿美江

◎料理演説「揚げ魚のソースかけ」
橋本青年学級 田口 秋江
戸田千津子

◎血圧調査を通じた部落活動
下原青年会 田中 栄子
◎農村の作業衣
霜条青年会 星名 貞子

◎養鯉とれんこん栽培
下平青年会 清水 雄

◎このほか中仙田・戸田青年団が合同で発表した演劇「休み日」はこのところ話題にのぼっている。休日の問題を、新旧世代の意見の違いに焦点を絞って力演、演劇が主題のとりあげかたいかなで、効果的な青年活動になることを立証してくれた。

全般的に女子の発表が男子のそれをうわ回す。演説がクラブ発表やプロシエクト発表をおさえた

スといふと、ほとんどが不健康な社交ダンスで、フォーク・ダンスなどはほんのていさいでしかない。明るい太陽の下で、どうどうとみんなの楽しめるフォーク・ダンスをなせやらないのか。

未来をになうべき青年たちがこれからは、いつまでたっても明るい町にはならないだろう。自分だけ楽しくやっていたら他人はどのようでもよい。そんなエゴイズムを捨てて、みんなが楽しめるような明るく健康なフンキを若い者の手で作ってゆかべきだ。

このことは、町の社会体育指導委員のかたにもぜひお願いしたい。(伊友 比斐生)

あたたかいい心で
社会体育指導委員は、社交ダンスの指導を……

……

……

注目される

これからの動き

出納係りの数藤洋子(沖立)さんが十月七日付で、社会係りの蔵品徳子(霜条)さんが十月三十一日付で退職した。仲の良かったふたり、数藤さんは一カ年、蔵品さんは一年六月を、町のためほんとはよく働いてくれた。

彼女たちの去ったあと、晩秋のわびしさに和してうらかなしさがただよう。ご多幸を祈るや切。

……

……

……

……

……

……

……

庁内人事

……

……

……

……

……

……

……

町の声

青年とダンス

先日、上野小学校でひらかれた青少年実績発表大会に出席し、町の青年活動の実状をうかがいながら、のついたことがある。

それは、最近ひんぱんに行なわれている社交ダンスについてである。社交ダンスの会を開催したら盛況だった。こんども、このような点で会を発展させたい、という青年会があった。だれにも喜ばれる

……

……

